

# 令和7年第8回（8月）山陽小野田市教育委員会会議定例会会議録

1 日 時 令和7年8月21日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 市役所第2別館会議室2

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 竹 田 佳 枝  
委 員 河 村 芳 高 委 員 嶋 本 顕  
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

|               |         |             |         |
|---------------|---------|-------------|---------|
| 教育部長          | 藤 山 雅 之 | 教育次長兼教育総務課長 | 矢 野 徹   |
| 学校教育課長兼心の支援室長 | 升 谷 哲 也 | 埴生幼稚園長      | 福 間 久美子 |
| 学校給食センター所長    | 吉 村 匡 史 | 社会教育課長      | 山 本 修 一 |
| 中央図書館長兼厚狭図書館長 | 山 本 安 彦 | 歴史民俗資料館長    | 若 山 さやか |
| 小学校長会長        | 下 瀬 昌 巳 | 中学校長会長代理    | 村 田 晋 一 |
| 書 記           | 田 坂 優 香 |             |         |

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 報告第8号 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について（概要） （学校教育課）

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について （学校教育課）

② 県費負担教職員の営利企業等従事許可について （学校教育課）

③ 市職員の人事について （教育総務課）

④ その他

(7) 閉 会

---

## 開 会

### ○長友教育長

それでは、定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による８月の定例教育委員会会議を開催します。

本日は、嶋本委員が欠席ですが、委員が過半数出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

---

## 会議録署名委員の指名

### ○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。末永委員、河村委員よろしくお願いいたします。

---

## 会議非公開の決定

### ○長友教育長

本日の議事日程「６.その他」の「（１）県費負担教職員の人事について」、「（２）県費負担教職員の営利企業等従事許可について」、「（３）市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められます。

よって「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項ただし書きの規定により、非公開としたいと思います。

これに賛成される方の挙手をお願いします。

（全員挙手）

ありがとうございます。全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

---

## 各課・館業務の報告

### ○長友教育長

報告事項に入ります。

まず私の方から７月３０日に行われた都市教育長会議、８月５日に実施された中学生市議会について報告いたします。

まず、都市教育長会議です。都市教育長会議で大きく議題として話し合われたのが、生成ＡＩの活用と部活動の地域展開についてです。生成ＡＩの活用については、現在どの市においても教職員の研修が中心で、２学期以降に授業・実践をしていくとの状況でした。また、昨年度、生成ＡＩの活用の研究校の指定を受けた市からは、授業が大きく変わる可能性があるということ、しかしながら扱いが

難しい面もあるため、個人差が生じる可能性もあるとの報告でした。本市も昨年度から生成ＡＩを取り入れた授業研究を進めており、本年度はさらに広げているところです。生成ＡＩを学びのツールとして、子どもたちが学びを深められるように実践を広げていきたいと考えています。

部活動の地域展開については、主に生徒の移動が話題になりました。「市のスクールバスを利用する」または、「移動のための新たなバスを購入する」「バス会社との連携等によりバスを運行する」等の様々な取組を紹介していただきました。また、指導者については、資質向上のために日本スポーツ協会の倫理規定を参考にする等、ハラスメント研修等を実施する市も多くありました。他市の取組を参考にし、本市の文化スポーツ推進課と連携・協力して部活動の地域展開を進めてまいりたいと考えております。

次に、中学生市議会についてです。例年８月の初めに各学校の代表が議場において中学生議会を実施します。これは、子どもたちが生まれ育った町が住み続けたい町となるように、夢を語る場として市ふるさと協議会が主催し、今年で６回目となります。学校では、主権者教育・キャリア教育の一つとして位置づけ、子どもたちが主体的に社会に参加し、より良い社会を築こうとする力を育てることを目的としています。質問は、「公共機関の充実」「校舎の老朽化」「特別教室の空調」「洋式トイレ化への加速」等についての質問や提案がありました。どの学校も山陽小野田市についてしっかり考え、中学生の視点からの問題提起をしていただいたと思います。こうした経験をもとに身の回りの課題を考え、解決するために意見を交換し、合意形成を図りながら協働して解決に向かう取組を学校の中でも進めてほしいと思います。

以上で、私からの報告を終わります。

私の報告につきまして、何かご質問等ございましたらよろしくお願いします。特にございませんか。

はい。河村委員。

#### ○河村委員

生成ＡＩの活用ですが、これからの時代から言うと生成ＡＩを利用せざるを得ないなという事だと思うのですが、正解に近い答えを見つけるには便利なんだけど、その過程において自分の頭で考えるという能力が阻害されないように教える必要があるのではないかと勝手に危惧しているのですが、現場ではどう考えておられるのでしょうか。ＡＩを使って考えるのか、ＡＩを利用して答えを導いてそれを自分の答えだと思わせるのかというのは大丈夫なのでしょうか。

#### ○長友教育長

升谷学校教育課長兼心の支援室長。

#### ○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。現在も中学生は生成ＡＩを本市の導入しているものを使っているところです。基本的な使い方は大きく分けて二つございまして、一つは授業の終わりの振り返りの場面で、自分が何が出来たかという事を文章で打ち込む際にＡＩに問いかけるもので、学校に入っている生成ＡＩは答えを出すものではなくて、ヒントのようなものを出してくれるものです。例えば、感想で「楽しかった」と打てば、「何が楽しかったの」とか「それがどうしたの」という壁打ちをしてくれて、思考の深まりが見られるという使い方が一つと、あとは学習の個人で深めていく場面で、学び方の多様化という感じで、先生に質問して答えを見つけやすい生徒もいれば、友達と相談してを見つけやすい生徒もいるし、じっくり教科書と対峙しながら答えを探す子どもたちもいますし、やり取りをしたい子たちが生成ＡＩを使って問題の解き方とかを投げかけて、それでもわからなければまた投げかけると、こうやった方がいいんじゃないのか、そんなやり取りをしながら自分の学習を深めていく、学校に導入されている

ものはそのようになっています。一般的なものは、打つと答えが返ってくるのですが、一応学校ではそのような使い方をしています。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

村田中学校長会長代理。

○村田中学校長会長代理

はい。課長さんの説明とも重なりますが、本校の様子を見ても若い先生は特によく授業で活用されている様子が見受けられます。今説明があったとおり、学校に入っている生成ＡＩは直接答えを示してくれるものではありません。質問に対して、ヒントを繰り返し与えてくれるかたちで活用になりますので、繰り返しの中で力尽きる生徒もいるんですけども、現時点ではすぐに言ったから答えを与えるのではなくて、思考が深まるようなかたちでの活用になっているのが現状でございます。

以上でございます。

○長友教育長

ありがとうございます。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。竹田委員。

○竹田委員

はい。中学生議会についてですが、今までの中で議会の中で出てきたものや提案されたものに対しては、その場での回答は出ているのか、それともその後に返しがあるのでしょうか。

○藤山教育部長

はい。私の方から、一般質問のかたちを取りますので、その質問に対してその場で回答いたします。後日ホームページの方に中学生市議会の質問と執行部の方の答弁を出して、中学生市議会についてどういう事が行われたかということを公開しています。

○竹田委員

はい。分かりました。

○長友教育長

具体的なものとすれば、コスモスの花をいっぱいにしたいという提案がありました。本市は、花いっぱい運動をしているのですが、その時に、コスモスの種を一緒に配布して、これも植えてくださいというかたちで、コスモスの種を配布しております。そうした動きも中学生の提案から、具体的な動きになったものもでございます。

○竹田委員

はい。ありがとうございます。

○長友教育長

はい。よろしいですか。

それでは続きまして藤山教育部長お願いします。

○藤山教育部長

はい。私の方からは特にございません。

○長友教育長

はい。

それでは、矢野教育次長兼教育総務課長お願いいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。私からは、8月9日から12日にかけて前線の停滞による大雨の被害についてご報告をいたします。小学校は、有帆・高千帆・高泊・小野田・赤崎・厚狭から雨漏りの被害が出ております。また、中学校では6中学校全ての学校から、雨漏りの被害報告が出ております。これについては、軽微なものが多かったんですが、早速教育総務課にある環境整備班の方で現地確認をして、対応可能などころについては業者依頼をして修繕を進めているところと、今後進める予定としています。また9月10月になると台風シーズンにもなりますので、それに備えて雨漏り対策はしっかり進めて行きたいと考えております。

それから毎年の事ではあるのですが、学識経験者に委ねて教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について実施する予定にしております。今年度につきましては、9月に第1回目、年内に第2回目ということで、計2回の点検・評価をお願いしようと考えております。その点検・評価に付する事務といたしましては、本初の基本計画・基本事業になります学校教育の推進の中であれば、心に寄り添う学校づくりの推進あるいは教育環境向上、指導内容方法の工夫と縷々基本事業を挙げておりますが、その事業において教育委員会の事務局の中で貢献度が高い、あるいは最も高いと評価をしている事業について点検・評価をお願いしようと考えております。またその結果につきましては、本会議の中でご報告をさせていただきたいと思っております。

次に、共催又は後援でございます。お配りした資料をご覧ください。こちらにつきましては、令和7年7月1日から令和7年7月31日の間に学校教育課あるいは社会教育課で共催又は後援を承認した事案になりますので、ご確認していただけたらと思います。

教育総務課からは、以上でございます。

○長友教育長

はい。それでは、ただ今の報告について、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、升谷学校教育課長兼心の支援室長お願いいたします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。学校教育課から報告させていただきます。

このたび、7月30日から8月10日までの12日間の日程で、山陽小野田市中学生海外派遣事業が行われました。教育委員会主催の事業ではございませんが、中学生が参加をするものでございます。市内の6中学校からそれぞれ1名ずつの生徒が、山陽小野田市の姉妹都市であるオーストラリアのモートンベイ市に派遣されました。現地では、ホームステイや学校での交流を通じて、貴重な体験をしたようです。後日、報告会が予定されていますので、私も参加するつもりです。ちなみに、8月10日は大雨のため新幹線が運休し、福岡でさらに一泊することになったため、帰国が一日延びて、結果的には13日間の日程となりました。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

よろしいですか。

○長友教育長

はい。河村委員。

○河村委員

これは始められて何回目ですか。

○長友教育長

始まりはレッドクリフ市の頃からで、合併前からずっとやっていた事業です。ここ数年コロナのため途中途絶えたところはありませんでしたが、令和3年・4年頃からコロナが明けたので、また続けている状況です。かれこれ20年以上になると思います。

○河村委員

20年以上なんですね。私が言いたいのは、短期的な影響力とかいうのは発表でわかるんだけど、中学校の時に派遣されて行ったことが今になって生きてきたとか、これが役立っていたとかいうのを、10年とか20年の節目にOB・OGを呼んで話し合ったら面白いかなと思いました。短期だけではなくて長期的な影響力があるはずですし、それに行ったことで人生が変わったまではいかないけど、すごく影響を受けたという体験もあったら面白いかなと思いますので、節目にはそういう計画されたらどうでしょうか。

○藤山教育部長

私の教育委員会の前の前職で、海外派遣の所管の部署にいました。委員さんのお話と少しずれるかもしれませんが、この海外派遣事業の評価をすべきだということで、令和2年ぐらいにこれまで海外派遣に行った生徒に集まってもらって交流をしたことがあります。そのときに色々評価や聞いたことを議会等で説明した記憶があります。学校の方には、それを広めたかどうか覚えがないのですが、事業の継続について評価した上で実施していく考えはございますので、今後そういうことはやっていくのではないかと考えています。

○河村委員

はい。ありがとうございました。

○長友教育長

はい。よろしいですか。

今回から心の支援室の報告をしていただこうと考えています。学校教育課内に心の支援室・ふれあい相談室等、相談機能を持ったところがあるのですが、そのところの報告は学校教育課にまけて、したりしなかったりだったので、今回から少し考えてしっかり報告していただこうと思います。升谷学校教育課長兼心の支援室長が心の支援室長を兼務されていますので、もう一度になりますが、よろしくお願いします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。このたびから報告の中で位置付けをさせていただいて毎月報告させていただくということで、この度は心の支援室の業務について、お話をさせていただきたいと思います。まず心の支援室、教育支援センターと言うこともあります。不登校等様々な支援を必要としている児童・生徒に対して心の支援員が学校や家庭と連携しながら社会的な自立、健全な成長を目指して活動しているところです。場所は、山陽小野田市労働会館（しらさわ内科の近く）と、山陽総合事務所の保健センターの2か所でございます。6名の支援員で対応しているところです。小野田地域の方が4名、山陽地域の方が2名でございます。それから、月に1回心の支援員連絡協議会というものを設けております。今月は8月1日に行われました。この協議会においては、子育て支援課の子ども家庭センターの支援員さん、

社会教育課の青少年専門相談員さん、少年安全サポーターさん、高千帆中学校・厚狭中学校に設置されているステップアップルームの担当教員が出席して、支援を必要としている児童生徒の個別の情報交換と今後の対応についての協議、共通理解を行っています。現在のところ中々学校に足が向かない児童生徒がおりますが、しっかり家庭に寄り添い学校の要望にも応えながら対応しているところです。先ほど2か所と申し上げましたが、支援員が学校を訪ねて子どもと面会・面談して意欲付け等の活動もしております。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

はい。河村委員。

○河村委員

個人情報ですが、今不登校とか学校に来ないというのは定義があると思いますが、山陽小野田市全体を見れば、小学校・中学校で何名ぐらいですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

すみません。今手元に詳しい資料がないのですが、傾向で言うと全国的には増加しております。県内も増加していますが、本市は横ばいというか増加傾向ではないです。先ほども支援室やステップアップルーム等がすごく機能的に動いておりますので、子どもたちのエネルギーを溜める場所になっているのかなと、この取組についてはそのように考えております。具体的に何名とお答えすることができないのですが、本市は増加傾向ではないということです。

○河村委員

今不登校の原因は不幸的な要因がいっぱいあると思いますが、一般的に言われている一番の原因は家庭に問題があるとか、一番はどういうところに原因があるのでしょうか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

様々あると思うのですが、やっぱり学校の授業とかで分からないところがあると、朝から夕方まで授業をしますので、その1時間目から6時間目までの居場所とかですね、そういったものによって本人の自己肯定感や有用感のようなものが下がってしまうのが主な原因ではないかと思います。そういった中で、このようなステップアップルームや心の支援室というのは本人がそこへ行って、もちろん勉強もしますが自立に向けて活動的な作業をしたり、本人の悩みをしっかりと受け止める大人がおりますし、安心できる場所があるということでエネルギーをもらって教室へ復帰していく、ということではないかなと思っています。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

よろしいですか。

それでは続きまして、福間埴生幼稚園長お願いします。

○福間埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。園の様子をご報告いたします。

前期の夏季希望保育を7月23日から29日の間で行いました。後期は来週なのですが8月25日から29日まで行う予定です。

次に8月1日に受けた、普通救命講習会についてお話しします。職員6名が参加し、山陽消防署埴

生出張所の救急隊の方から指導を受け、心肺蘇生法や異物混入時の対応等を学びました。また、夏季休暇中は自己研修に参加し、質の向上を目指しております。

次に、実習生の受け入れについてです。9月16日と17日の二日間、埴生中学校2年生の職場体験学習があり、3名の生徒が幼稚園に来ます。また、宇部フロンティア大学短期大学部の学生2名が9月26日より10日間、教育実習を行います。学生の将来の夢の手伝いができるように指導してまいりたいと思います。

最後に、園児数についてですが7月23日で2名の園児、兄弟児が退園しました。9名になったのですが、9月1日より満3歳児が1名入園する予定です。全体で10名になります。

2学期が始まるとすぐに運動会の練習中心の生活になってくると思いますが、暑さがまだまだ続くので、無理をしないように活動していこうと思っています。

以上です。

#### ○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは吉村学校給食センター所長、よろしくお願いいたします。

#### ○吉村学校給食センター所長

はい。学校給食センターから報告いたします。

8月1日に、親子食育教室を実施しました。夏休みに2回実施しておりまして、7月25日と8月1日に行いました。7月の出席者は7組20名の方が出席されて、8月1日は7組18名の方が出席され、合計14組38名の方が親子食育教室に参加されました。今回のテーマは「よく噛んで食べよう」ということで、このテーマに沿って食育の勉強をさせていただきました。1回に30回噛んで食べようということが良くわかった、というようなアンケート結果も出ておりまして、子どもさんにとっては思い出の研修になったのではないかと考えております。

二つ目ですが、8月は7月に厨房機器の保守点検をした中で、緊急性が高いものをピックアップして修繕を行っております。予定していた修繕は8月中に完了する予定となっております。8月最後の週は、9月1日（月）から始まる2学期の給食に合わせて食数の変更による食器のセット、洗浄、給食センター内の厨房機器の動作確認等を行う予定としております。

報告は以上です。

#### ○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは続きまして、山本社会教育課長よろしくお願いいたします。

#### ○山本社会教育課長

はい。社会教育課からご報告いたします。

初めに、今後の児童館についてです。児童館は市子育て支援課が所管しており、現在小野田地区の6小学校区に設置されております。令和8年4月から、児童館の廃止が予定されていることに伴い、7月24日から7月末まで有帆・高千帆・高泊・小野田・須恵・赤崎・本山それぞれの校区で行われた子育て支援課主催の説明会に同席いたしました。説明会にはPTAの方、小学校・中学校の校長先生、地域交流センター長、児童館の事業を支援している団体の方々が出席され、子育て支援課から児童館廃止に伴い、建物の名称は変わるが、同建物で児童クラブ・学童は継続拡充されること、児童館の四つの事業については、地域交流センターやスマイルキッズ、地域子育てセンターで継承されることが説明されました。社会教育課といたしましては、児童館事業の一つである児童館クラブについて、

新たな取組として子育て支援課と協議を進めていることを説明し、参加者からの質疑に対応いたしました。

次に、市青少年育成協議会が実施している、木工教室についてです。今回で5回目の開催となり、夏休み恒例の事業となっております。小野田・高泊・高千帆・厚狭・出合の地域交流センターで実施しております。これにつきましては、社会教育課職員も事務局として参加しております。今年度は、親子でマガジンラックの製作に取り組みました。物づくりを通して、子どもたちに普段触れ合うことが少ない大人との会話を交えることで、青少年の健全育成につなげようとするのが目的となっております。実施した日は、市青少年育成協議会の役員と地域交流センターの職員の他に、小野田中学校から5人、高千帆中学校から3人の生徒ボランティアが、参加した子どもたちに釘の打ち方やヤスリのかけ方等を伝え、製作の支援をしてくれました。また、マガジンラックの材料につきましては、事前に役員が大きな一枚の板から部品・パーツごとに板を切り出し、釘が打ちやすいように板に穴を開けたり線を引いたりしたことを子どもたちに伝え、普段から見えない思いやりや心遣いがあることを役員の方が説明いたしました。約90分で完成し、子どもたち自身で作ったマガジンラックを自慢げに持って帰る親子の姿を見て、夏休みの良い思い出の一つになったのではと感じました。

最後に、秋の花壇コンクールについてです。社会教育課では、花づくりを通じた地域のつながりづくりを目指して、花いっぱい運動に取り組んでいます。6月初めにサルビアとマリーゴールドの苗を配布いたしましたが、それらの花々を含め市内で花を育てている個人・団体・企業を対象とした、秋の花壇コンクールの参加者を現在募集しています。締め切りは8月29日となっており、審査につきましては、9月下旬から10月上旬を予定しています。

社会教育課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

はい。河村委員。

○河村委員

子育て支援課が説明会をされたとのことですが、児童館の関係者一同が集まられた中で廃止について反対意見はありましたか。それとも関係者の方々はほぼ理解されたという印象なのか、説明会の印象はどうだったでしょうか。

○山本社会教育課長

私個人の感想ですが、児童館の廃止ということで、児童クラブ・学童がそのままなくなるのではないかと懸念があったのが払拭されたのではないかと思います。また、児童館クラブの今後の展開につきましては、地域交流センターで実施することを説明いたしました。ただ、校区によっては学校と地域交流センターが離れているところがあることについての質問や、児童館クラブに代わるものの事業をどういったものを考えているのか、ということもございましたので、現在の放課後子ども教室の内容を踏まえてご回答したところでございます。特に児童館廃止につきましては、反対意見等はありませんと感じております。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

よろしいですか。

それでは山本市立図書館長、お願いいたします。

○山本中央図書館兼厚狭図書館長

はい。図書館からご報告申し上げます。

市立図書館関係資料をご覧ください。中央図書館《7, 8月行事報告》では、8月9日(土)『西広ショータminiライブ!「音楽の便り〜旅する図書館〜」』というテーマで30分という短い時間でしたがライブを行っていただきました。8月17日(日)【図書館創発会議主催】ですが、「夏休み宿題大作戦」を行いました。50人ぐらいの子どもたちで賑わいました。そして昨日ですが、8月20日(水)「サイエンスカフェ開講10周年記念イベント」を開催いたしました。記念講演と大学の研究室見学の2本立てで行いました。

《8, 9月行事予定》について、8月31日(日)「夏休みファイナルイベント」例年開催しているものですが、今回は(ちっちゃながくのおはなし会sp・こわいよこわいよおはなし会・おたのしみ映写会)の3つで構成されています。9月27日(土)中央図書館開館30周年記念行事セレモニーを開催する予定です。この中では、中央図書館活動に貢献された個人・団体への感謝状の贈呈と先ほど少し触れられました、オーストラリア・モートンベイ市レッドクリフ図書館とのオンライン交流会を予定しております。そしてスペシャルスマイルプランナー西広ショータさん等による図書館のテーマソング「図書館へ行こう」を初披露していただきます。

図書館からは以上でございます。

○長友教育長

はい。厚狭の方はどうですか。

○山本中央図書館兼厚狭図書館長

厚狭の方は特にピックアップするものはありませんので、資料をご覧くださいと思います。

○長友教育長

はい、わかりました。厚狭図書館については、資料をご覧ください。

それではただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

よろしいですか。

○長友教育長

はい。河村委員。

○河村委員

全然関係ないかもしれないけど、私の娘が帰省しておりまして、厚狭図書館に行ったら「ヨガ教室」があるということで、「絶対に行きたい!」と言っていましたので、こういうのも人によっては興味があるものもあるので、色々なことにチャレンジされていて非常に良いことだと思いますので、続けてやってください。

○長友教育長

色々な催しで人を呼ぶというところで、また色々なアイデアをお願いしたいと思います。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。竹田委員。

○竹田委員

夏休み宿題大作戦ですが、これは学年とか教科とか偏りとかはどうでしょう。どんな様子ですか。

○山本中央図書館兼厚狭図書館長

はい。これは特に申し込み制ではなくて、どなたでも来ていいよ、ということで行いましたので、  
どういう方々が来られたかというのはわからなかったのですが、宿題を抱えて来られたり、子どもた  
ちのリフレッシュする場として縁日もその中で行いましたので、そっちの方に子どもが行ったり楽し  
みながら宿題を片づけた様子でした。

○竹田委員

はい。ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは、若山歴史民俗資料館長お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館からご報告いたします。

資料をご覧ください。現在、山陽小野田市誕生20周年記念事業・昭和100年企画展「山陽小野  
田の昭和写真展」を開催しております。写真を約190点展示しており、「見応えがある」「懐かし  
い」「水害の写真に驚いた」等の感想をいただいております。また、昭和の地図を手にとって見るこ  
とができるようにしております。写真と合わせて楽しんでいただいております。

7月27日（日）にギャラリートークを開催し、12名の方が参加され学芸員から直接話を聞いて  
楽しんでおられました。

8月29日（金）には「昭和の災害写真」と題して、当館の溝口学芸員が市民館で講演会を行いま  
す。現在申込が60名います。

次に、8月2日（土）に小学生を対象に「埴輪づくり」体験教室を開催しました。埴輪や古墳につ  
いてレクチャーやクイズをした後、苦戦しながらも思い思いの埴輪を作りました。親子で17名の参  
加があり、2年生から6年生までが参加をいたしました。次回は、8月23日（土）に開催をいたし  
ます。

資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

はい。河村委員。

○河村委員

私も山陽小野田の昭和写真展に行かせていただきました。お世話になりました。非常に懐かしく、  
町で生きているとよく言われていて、本当かなと思っていましたが、たしかに公衆衛生的に見ると、  
すごく清潔になって綺麗になっているのを実感しました。私たちが小さい頃は、雨が降ると道路が舗  
装されていないので、泥が跳ね上がるような状態だったり、その頃は蚊やハエもいっぱいいたりしま  
したけど、今ではハエも見ることもないし、すごく綺麗になって、どんどん便利で生きやすくなって  
良くなったなと一目で見てわかるものだったので、感心して懐かしい思いをしました。またこのよう  
な企画をどんどんお願いしたいと思いますので、お疲れ様でした。

○長友教育長

ぜひ、まだの人は行ってください。

それでは、下瀬小学校長会長お願いいたします。

○下瀬小学校長会長

小学校長会から3点報告させていただきます。

1点目は、夏季休業中の各種のイベントについてです。夏休み中は、地域主催あるいは育友会主催、民間団体主催の子ども対象の活動がたくさんあります。多くの子どもたちが参加しております。高千帆小学校の育友会では、父親部会が主催して水風船バトルを8月2日に行いました。父親部会の会員だけではなく、たくさんのボランティアの方もお手伝いされて、1万個の水風船を準備し100名ぐらゐの児童が参加しました。熱中症対策も万全にして、最後の片付けも皆で行いました。資料の左上の写真になります。

8月11日には、親子料理教室が計画されていゐました。残念ながら大雨の影響で料理教室は中止として、食材の配布を行いました。卵の配送が道路の渋滞により大幅に遅れたため大変時間がかかりましたが、最後は皆で記念写真を撮って解散しました。これが右上の写真です。

そして高千帆地域交流センターでも、小学生の対象の講座やイベントが数多くあり、夏季休業中はスタディルームも開設されており、たくさんの児童が交流センターへ行っています。その中で地域の人を講師にした作文教室や習字講座、工作等の講座もたくさんあります。交流センターは、児童にとって地域の方や中学生・高校生との交流の場となつてとても楽しい所となっております。

2点目は、職員研修についてです。夏休み中市の教育研究会の各部会、各種協議会研究会等多くの研修が行われています。本日は、市の教育研究会の主催の教育振興大会で文部科学省初等中等教育局主任視学官の田村先生によるご講演がありました。主体的・対話的で深い学びを改めて考え、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実について講演がオンラインでありました。とりわけ深い学びについてアウトプット、音声言語や文字言語の出力により、ちょっと長めの振り返りをしていくことについても具体的な示唆がありました。教職員は各部に分かれて田村先生から提示される問いに対して話し合いながら拝聴してゐました。2学期からの授業が子どもにとって楽しくわかる授業になるよう授業改善、教育活動の質の向上を目指して実践して行く意欲を感じたところです。

3点目は、2学期の準備についてです。あと10日程で2学期がスタートします。2学期中の行事や活動の打ち合わせや関係機関との協議、活動場所の下見等を行つて備えているところです。

また、2学期の始めに登校渋りや生活習慣が取り戻せない児童等、気になる児童への声掛け、保護者との連携を事前に行うようにしてゐます。2学期は、宿泊学習や修学旅行等多くの授業や地域との連携活動、教育活動を実施する予定にしています。児童にとって魅力ある学校となるよう充実した教育活動を行い、実り多い2学期になることを校長会でも話し合い準備を進めています。

以上、小学校長会からの報告でした。

#### ○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、中学校長会お願いいたします。

#### ○村田中学校長会長代理

はい。本日は、高来中学校長会長が他の公務に出席しておりますので、私の方から代わりに報告させていただきます。

今年度は記録的な猛暑で、部活動をはじめ校内で行う活動については、熱中症対策を行いながら進めているところです。中学校から2点、ご報告いたします。

1点目は、中学校選手権大会についてです。3年連続中国大会出場を果たした、厚狭中学校軟式野球部ですが、残念ながら2回戦敗退となりました。高千帆中学校から卓球女子個人に出場した3年生は予選リーグ敗退、同じく高千帆中学校から水泳競技に出場した1年生男子は、50m自由形で8位、

100m自由形で11位、1年生女子も200m背泳ぎで8位に入賞する等健闘しました。竜王中学校から柔道男子50kg級に出場した2年生男子は、1回戦敗退となりました。

以上が中国大会の結果でございます。

また、弓道で全国大会に出場した厚狭中学校3年生女子は、予選敗退となりました。どの競技においても上位進出とはなりませんでした。選手にとっては大変貴重な経験になったと思います。1・2年生の選手も多いことから、この経験を活かし今後の活躍に期待したいところです。

2点目は、夏休みの活動についてです。市ふるさと協議会のお世話で、8月5日に市役所市議会議場で中学生市議会が開催されました。中学生からは、学校の施設面や公共交通の整備、部活動の地域展開等について質問がされ、市長さんをはじめ執行部の皆様に大変丁寧なご回答をいただきました。おかげをもちまして、参加した中学生にとって主権者教育の貴重な体験の場となりました。多くの方々にご尽力いただき、大変感謝しております。

本日午前中は、先ほどご説明があった市教研の教育振興大会が行われました。中学校教員も同様に参加しております。内容につきましては、先ほどご説明がありましたので割愛させていただきます。引き続き行われた、市教委主催の山陽小野田市小中学校人権教育研究会では「同和問題に学ぶ」をテーマに、山口市人権擁護委員、伊川利通様の講義が実施されました。これらの研修を活かして、今後も教職員の資質向上に努めてまいりたいと思います。

8月26日には、山陽小野田警察署との連携による少年リーダーズサミット、通称「さんおのCPラボ」が開催される予定となっております。中学生・高校生・大学生がSNSの問題等について話し合い、市内同一ルールの策定等に取り組む予定となっております。

これからの夏休み終盤は、埴生・厚陽中学校以外の4校については、運動会に向けた応援リーダーの研修や、応援企画・練習に取り組んでいるところです。行事の多い2学期ですが、生徒が主体的に生き生きとした活動を通じて成長できるよう支援してまいりたいと思います。引き続きご指導の程よろしくお願い申し上げます。

報告は以上です。

#### ○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

はい、河村委員。

#### ○河村委員

スポーツ選手の中国大会・全国大会ですね、これは夏休みに期間が限定されていますよね。夏の甲子園でも暑さ対策で競技をする時間の変更等検討されていますよね。中国大会・全国大会をすること自体はしょうがないかなと思うのですが、高校生より中学生の方がまだ体力がないので、時間の変更をするとか時期とか検討するような話は出なかったんですか。

#### ○村田中学校長会長代理

大会の運営自体に関わっていないので明確な回答は難しいのですが、県内の大会等の実施の様子を見ても、例えば屋内競技であれば、エアコンが使える体育館を使ったり、以前はそのようなことはなかったんですけども、そういった場所を選んで行ったり、特に野球においてはインニングごとに休憩時間を設けたり、例えば2インニングやって休憩というように休憩時間を取る等、それぞれ専門部によって熱中症の対策を取っているのは見てとれます。

活動時期についてはどうしても遠方から集まる事情等や教育課程の問題もありますし、どうしても夏休み期間を利用するという事になるのではないかと思います。中国大会が8月上旬、全国大会

がお盆明けとなっており、この日程は中々変わらないのではないかと予想しております。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは、以上で報告は終わりとなります。

---

#### 次回の会議日程

○長友教育長

それでは、次回会議日程について教育次長よりお願いいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。次回の日程でございますが、9月25日（木）14時00分から市役所の第2別館会議室こちらのお部屋で開催することをお諮りいたします。よろしくお願いいたします。

○長友教育長

はい。皆さんよろしいでしょうか。

（「はい。」という声あり）

それでは、ここで前半を終了いたします。どうもお疲れ様でした。

---

14時55分休憩

14時56分再開

---

#### 報告第8号 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について（概要）

○長友教育長

それでは議事に移ります。報告第8号「令和7年度全国学力・学習状況調査結果について（概要）」の説明を事務局お願いします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。学校教育課から説明させていただきます。全国学力・学習状況調査については4月から3回目になります。この度結果が出ましたので報告をさせていただきます。

4月17日に小学校6年生と中学校3年生を対象とした、全国学力・学習状況調査の結果について報告をさせていただきます。本調査は、松原分校を除く市内すべての学校で実施され、国語・算数・

数学・理科の教科についての調査と、生活習慣や学習環境に関する質問調査が行われました。中学校の理科につきましては以前もお知らせしましたが、文部科学省のＣＢＴシステムを用いてオンライン方式で実施しております。

調査結果についてご説明します。教科に関する結果は、小中学校ともに全ての教科において、全国平均正答率と同程度となっております。

裏面をご覧ください。生活習慣や学習環境に関する質問では、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」と感じている児童生徒の割合は高く、「読書が好き。」であるということや、「自分に合った授業を受けている。」と感じている児童生徒が多い、が望ましい状況として挙げられています。一方、自分の考えを発表する際に上手く伝えられていると感じている児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均に比べると低いという課題が見られました。中学校では、理科の授業で観察や実験を行っていると感じている生徒の割合が、低いことも課題として挙げられています。

②学校に関する調査では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っている学校の割合が高かった一方で、教職員の心身の健康状態について振り返り対処する機会が提供されていると感じている中学校の割合が低いことが課題になっています。こちらの課題は、全県的にそのような傾向がありまして、健康診断を受けた後に「要検査」となっているにもかかわらず、受診をしない教員が半数近くいるという結果もございます。これらの調査結果を踏まえた今後の取組としてご報告させていただきます。

まず、これまでも全学校で取り組んでいる「見通し・実行・振り返り」を柱とした「自主的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、安心して通える学校づくり、基本的な生活習慣の確立等の取組を引き続き推進してまいります。また、今回の調査で明らかになった課題を解決するため、①知識の定着、実践力の向上、非認知能力の育成に向けた体験的な学びの推進、②学習内容の定着、自律的な学習習慣を育むための授業と家庭学習の連携、③「個別最適な学び」「協働的な学び」につながる生成ＡＩやＩＣＴを用いた学習の充実の三つの新たな重点取組を推進してまいります。児童生徒の充実した学びや、学校生活ができるよう支援をしてまいります。

以上で報告を終わります。

○長友教育長

はい。この件に関しまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いします。

○末永委員

はい。

○長友教育長

はい。末永委員。

○末永委員

中学校の理科はＣＢＴシステムのテストということだったんですけど、いつも受ける記述式というか、マークシートでもいいんですけど、ＣＢＴテストの点数の差はなく、いつも通りだったんでしょうか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

そうですね。いつも通りです。このＣＢＴテストにはＩＲＴという理論が導入されていて、異なる問題を複数の日程で行っても公平に評価ができる仕組みで、例えば視力検査みたいにいつやっても０．８は０．８、１．０は１．０の結果が出るというようなことで、色々な種類の問題が提供されている

ものでございます。もちろん共通問題もあって、この度は問題を子どもたちには返していないのですが、共通問題の部分は今回初めてでした。共通問題の部分と複合的な問題がたくさんあるのですが、たくさん正解したからいいとか正答率で見るのではなくて、その難易度とかも併せて見ることで、通知表のように5段階に分けて結果が出てくるようになっており、今回は理科だけがこの形式でした。他の教科は正答率で出るのですが、理科は5段階で分けられて返ってくるというものでございます。随分進んでいて、私も対応するのが大変で調べました。

○末永委員

いずれは他の教科もそうになっていくのですかね。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

そのようになっていくと思われます。

○末永委員

なるほど。ちょっと成績を見る方も難しいですね。子どもたちが理解できるのかなというのが。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

やはり学校の教員が理解をして、子どもたちへきちんとかみ砕いて説明をしていかないといけないなど。今までみたいに、たくさんできたからよかったね、ではないという事ですね。

○末永委員

私も親としてもっと勉強してみようと思いました。ありがとうございます。そういう流れなのですね。ありがとうございました。

○長友教育長

その他よろしいですか。

はい。河村委員。

○河村委員

資料4ページの②学校に関する調査ですが、これは学校の先生のことですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。教員が学校の状況を答えています。

○河村委員

教職員ですね。

○長友教育長

校長じゃないですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

校長ですね。失礼しました。

○河村委員

校長先生だけなんですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。

○河村委員

校長先生がこう感じているということですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

学校において全体を見られて、ということですね。

○河村委員

私が気になったのが、ストレスチェックの結果の活用というところです。やっぱり先生方も働き方改革をしないとイケないほど大変な毎日をご過ごしておられるんですけど、職場ではストレスチェックされていて、高ストレス者はチェックされるのですよね。その人への配慮というのは校長先生の感想だと上手くいっていないようなので、やっぱり一般労働者と一緒に、先生といえど高ストレス者には配慮して、ストレスがかからないような対策が必要じゃないかなという印象を受け、その点が気になりました。その辺は校長会等で校長先生は知っているかもしれませんが、教職員全体にこういう課題があるということをフィードバックされて全体で考えられた方がいいと思うのです。本人の能力がないから苦しくてストレスを溜めるのだ、ではなくて教職員全体として取り組む必要があるのではないかなと私は思っていますので、この結果を活かしていただきたいと思います。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。竹田委員。

○竹田委員

課題の見られる状況ということで、【小学校】算数「変化と関係」において全国平均正答率を下回った。とございますが、例えばこういう結果が出たことに対して今後どういうかたちでこれを上回っていくようにするのか、それはどこかで話し合われて、方向性を決めるプロジェクト部会みたいなものができて進められるのか、それとも個々の学校、個々の先生方が、結果がこうだから何とかしてください、というようにしているのか、その辺りを教えていただけますか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。全ての学校ではないかもしれませんが、私が知り得ていることや自分が担当している学校で申しますと、子どもも含めて学力に関する熟議を行っています。実はきちんとした結果が出る前に学校で自校採点をいたします。ですから1学期の間に子どもたちはある程度自分たちの結果を知っていて、その傾向を自分たちで分析をしています。例えば小学校の算数では、子どもたちが一部なのかもしれませんが結果によると計算はできる、ただ自分で図や表を見て考えてやっていくのが苦手であるという分析は自分たちでしているので、それを基に保護者の方や地域の方も集めた熟議の中で、「昔は自分たちはこうだったよ」とか「こんな勉強をしたよ」というヒントをもらったり、あるいは教員もそこでまた改めて考えて授業改善、例えば関数の部分が弱いというところで、ここをどうやってやって行くのかをまた校内で研修、教科部会を開いて対応しながら授業改善をしているところがございます。学校によって子どもが先か大人が先か、あるいは大人が話したものを子どもたちにこうやってやって行こうという学校もありますが、今多くの学校で子どもを含めた学力の熟議を行う流れになってきています。

○竹田委員

はい。ありがとうございます。

○長友教育長

よろしいですか。それでは採決いたします。報告第8号「令和7年度全国学力・学習状況調査結果

について（概要）」ご承認いただける方の挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

ありがとうございます。報告第8号は、全員賛成により承認されました。

---

#### 県費負担教職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

---

#### 県費負担教職員の営利企業等従事許可について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

---

#### 市職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

---

#### その他

○長友教育長

その他になりますが、何かございますか。

---

#### 閉 会

○長友教育長

これで本日予定されていた議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆様お疲れ様でした。

---

15時18分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和7年 8月 21日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印